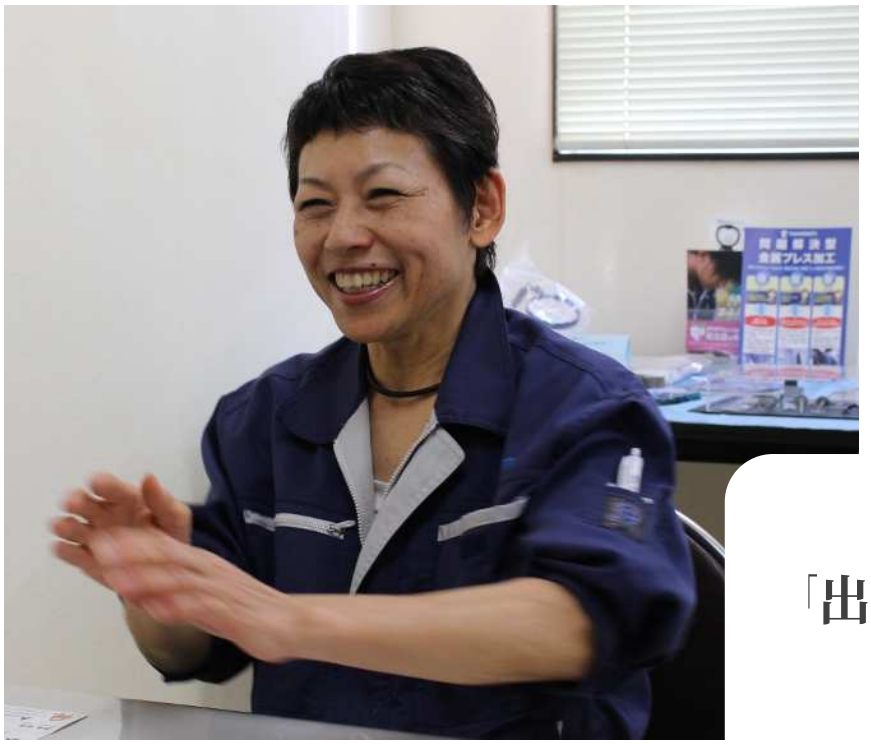
元気のヒ・ケ・ツ

2019年5月発行

足立の商人・創人

【編集・発行・問先】
足立区産業経済部産業振興課
「元気のヒ・ケ・ツ」製作チーム
3880－5865（直通）



株式会社トミテック
（足立区六町4-12-15）
代表取締役　尾頭　美恵子さん

「出会いの質が人生の質」

学生、社会人、結婚・子育て、現在に至るまでのお話を通して、尾頭さんの「元気のヒ・ケ・ツ」をお伺いしました。

尾頭さんの「元気のヒ・ケ・ツ」を3つにまとめると、
- 不安がらずに行動
- 人との出会いに感謝
- あきらめない！

では飾らずにお話してくれた、尾頭さんのインタビューをご覧ください。

まずは、お仕事について教えてください。

金属プレス加工の会社を経営しています。主に、自動車部品を製作していて、米粒から手のひらサイズの物が得意です。昔は金属プレス加工の会社は沢山あったんですけど、今は同業者が少なくなってきています。うちは金型の設計開発ができるという強みがあって、社内での金型製作やメンテナンスも担うことで今に至ります。

会社はいつから？

私の父が昭和34年に立ち上げました。昭和45年に父が倒れ、母が代わりに会社を回して。当時私は15歳で一番下の妹は2歳。4人姉妹の長女だったから、まかない作りもやったし、「けとばし」っていう機械作業も手伝っていました。

家のことで大変だったけど、それでも中学のときはバレーボール部でキャプテン！部活をやりたかったから、その分勉強も頑張って、高校はトップ入学だったんです！

家業に入られたのはいつですか？

高校卒業してからは、都心の債券銀行に就職して給与班で働いていました。休みの日には赤坂・六本木で遊んだり、サーフィンしたり！でも実は就職した年に、父が他界して。それがきっかけでその翌年に家業に入ったんです。トミテックに入ってからは40年間ずっと会社の2番手で財務と社内構築を担当していました。結婚・出産と環境の変化があったけど、その間も一度も仕事は休んでないの。

（写真左）
以前、手伝っていた「けとばし」という機械。今も現役で使われています。

社長になられたのはいつですか？

2年前です。実は4年前に公認会計士の先生に「このままでは2年先ないよ…」と言われて。夫から私に社長交代をして、トップダウンではなく、みんなの意見を取り入れる形に変えていこうと。その時に、不動産業で成果を出していた息子が技術担当として、会社に入ってくれました。息子は妻も子供もいたし、給料が今より下がるのに、本当によく決断してくれたと思います。

今は10代～60代の社員がお互いに刺激を与え、自ら課題解決に取り組んで働けるようになってきているかなと感じています。息子が現場で実際に働きながら取締役をやってくれているから、経営側と現場の調整が上手くいっていると思います。

（写真左）
従業員さんとは積極的に話しをするそう。家族参加の食事会など、若手社員が企画してくれることも。

取材当日、息子さんは留守でしたが、息子さんが掲載されている本「あだち工場男子」が飾られていました。真剣なまなざしで作業される息子さんの姿。（写真下）

お話を聞くと大変な時期もありますが、パワフルにこなしてこられた秘訣はなんでしょうか？

悩んでもしょうがないしって言うのが私の性分かな。悩んだら一歩前出て行動する。努力は身になると思っているし、やれば絶対に結果はついてくる。正直、逃げ場がなかったから「やるっきゃない」って。でも大変な時には力になってくれている人に出会えている。本当に人との出会いは感謝でいっぱい。

でも、子育てと仕事に精一杯だった時期に、小学校の同級生と再会して「世間から取り残されている！」って感じて焦ったこともあった。それで、息子が18歳になった時に、「お母さんを外に出させてください！」って家族に宣言したんです。

（写真左）
繊細な線を加工技術で切り出せる技術があってこその立体日本地図。海岸線の細かさに驚きます。

（写真右）
「思い」を伝えるクリップ。
「メッセージプレス」
自動車部品のほかにも、消費者向けの商品も作られています。

そこからお囃子を習い始めたり、TSL（トップセールスレディ育成塾）に入ったり。それから学びの場を増やして、色んな人と出会う機会が増えました。

お囃子を始めたころは、学生に交じって習っていて、記憶力もなくて覚えるの大変だったの。私どこでも劣等生なの。だから頑張る！という感じです。

最近は当時学生だったお囃子の仲間の子に、「美恵ちゃん、上手くなったね！」って褒められました！

頑張るパワーの源として、食生活など何か気をつけていることはありますか？

今は一日3食しっかり食べています！必ず1日1食はお米を食べるようにしている。でもちょっと前までは一日1食、お昼のみ。全く食に興味がなかった時期もあったの。もちろん若いころは揚げ物大好きでそれなりに食べていたけど。実は私、18歳で十二指腸潰瘍になって、26歳で胃潰瘍になって、ずっと胃はつらい思いをしてた。だから胃に 負担がかからないよう、野菜から食べたり、魚をなるべく食べたりするように意識はしてたかな。

読んでいる方にメッセージを！

若いころは「くやし涙」いっぱい流してきてる。でも、「あきらめない」気持ちを忘れずに、とにかく「行動」おごらずに人の話を聞いて、出会った人に「感謝」

「母の姿が元気のヒ・ケ・ツ」

階段の踊り場には数々の尾頭さんのお母さまの表彰状がたくさん飾られていました。お母さまも色々な地域活動に熱心に参加され、人との出会いを大切にされていた姿が想像できました。尾頭さんの元気のヒケツはお母さま譲りであることが伺えました。

～編集者より～
ネガティブなことがあっても、そちらばかりに気がいくのではなく、「こうなりたい！」という望みがあれば、今やるべきことに、めげずに注力できる。
良い出会いは、「待つのではなく自ら行動して得るもの」だと学びました。様々な活動を精力的にこなしていたお母様のような「人との出会い」が尾頭さんの元気のヒ・ケ・ツ。